

2015年度
決算説明資料
2016年5月12日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2015年度 連結決算概況

1. 業績の推移	P3
2. 収支の状況	P4
3. 財務の状況	P12
4. 資源セグメントの状況	P17

II. 2016年度 連結業績予想

1. 前期比較	P18
2. 上期・下期比較	P21
3. 一株当たり情報	P22
4. 感応度	P23
5. 第10次中期経営計画フォローアップ	P24

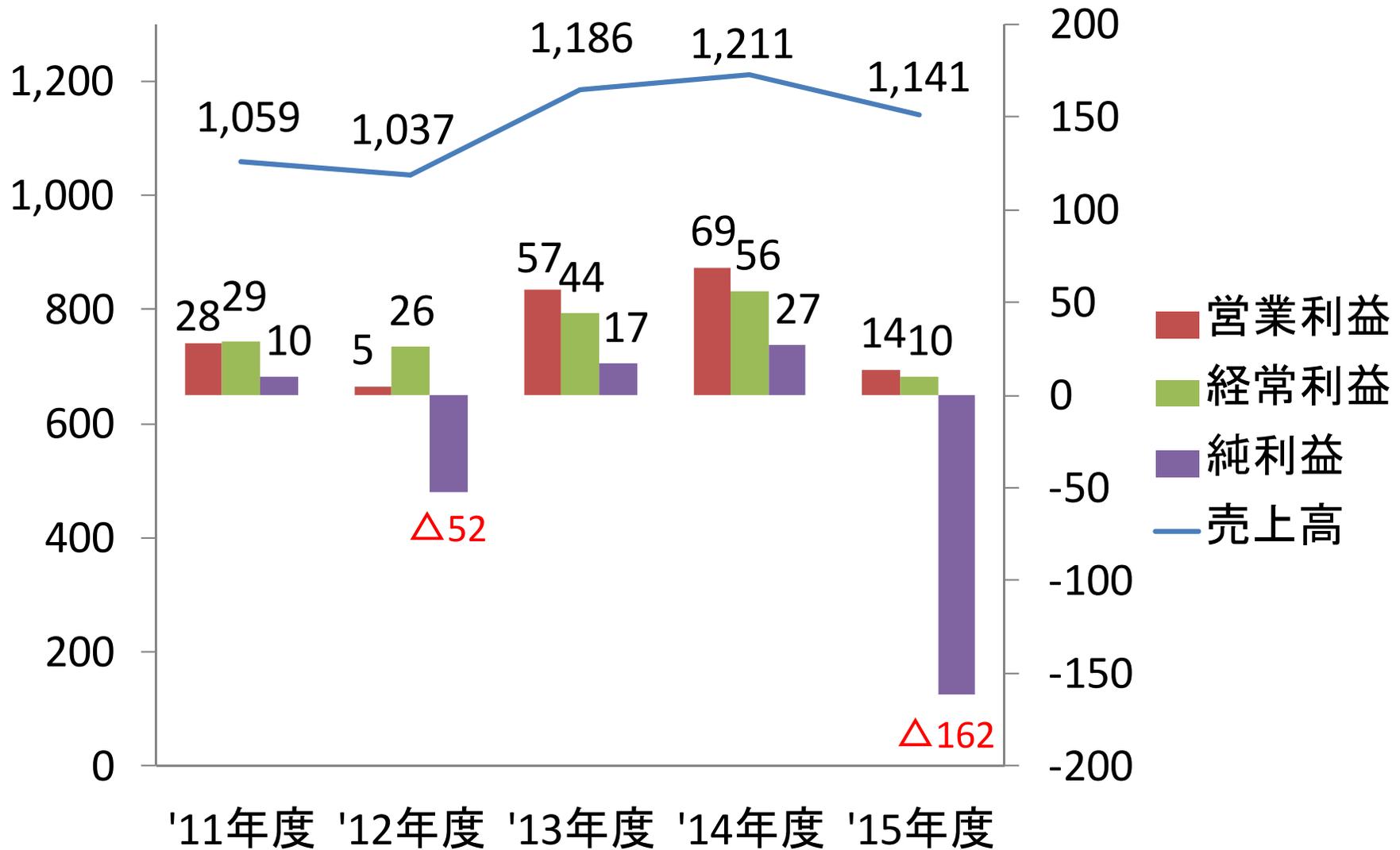
(参考資料)

1. 世界の亜鉛・鉛の需給推移	P27
2. 国内の亜鉛・鉛の需給推移	P28
3. メタルの価格と在庫の推移	P29
4. 亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要	P30
5. 製錬事業の収益構造	P31
6. 製錬業界における当社の位置	P32
7. 主要製品の用途	P34
8. 主要製品の売上の推移	P35

I. 2015年度 連結決算概況

1. 業績の推移

単位：億円



2. 収支の状況(総括)

○2016年2月8日業績予想修正との比較

連結売上高(1,134→1,141億円;+7億円)、連結営業利益(△12.0→14.0億円;+26億円)、
連結営業外損益(△8.0→△3.9億円;+4.1億円)、連結純利益(△183.0→△162.2億円;+20.8億円)。
1～3月のメタル価格の上昇が製錬・資源事業の収支改善をもたらしました。

○前期比較

メタル価格が大幅に下振れしたことに加え、前期が在庫評価益、当期が在庫評価損であったことから、
連結営業利益は55.0億円の減益、連結経常利益は東邦亜鉛からCBHへの貸付金に発生する為替評価損益
が改善したことから若干減益幅が縮小し45.6億円の減益となりました。
連結純利益は、CBH両鉱山の減損を行ったことから、189.6億円の減益となりました。

単位:億円

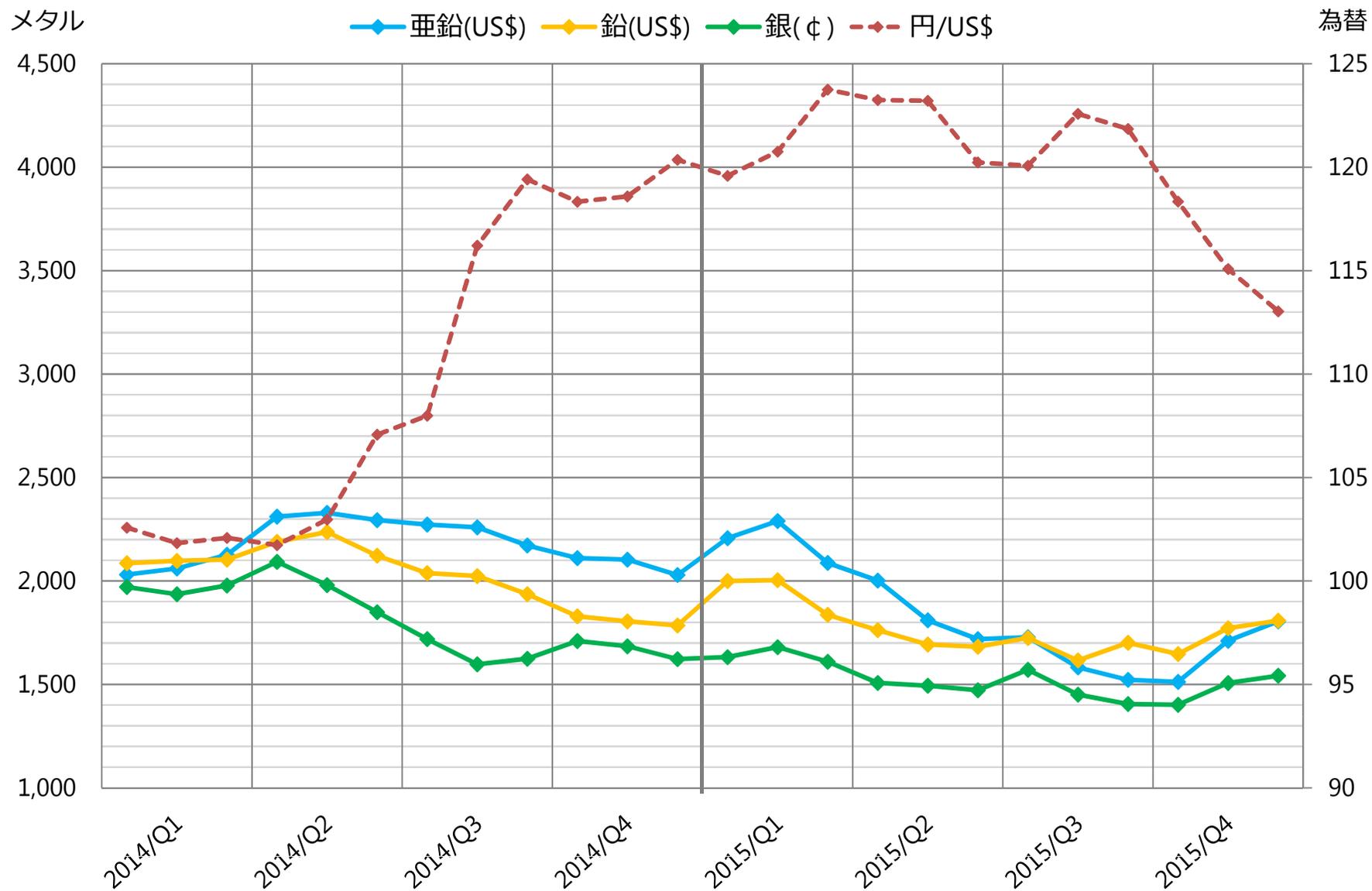
単位:億円

連結売上高	1,141	個別売上高	980
連結営業利益	14.0	個別営業利益	31.9
連結経常利益	10.1	個別経常利益	42.6
連結純利益	*△162.2	個別純利益	**△261.9

*内、CBH社鉱山減損△152億円(エンデバー△69億円、ラスプ△79億円、のれん△4億円)

**内、東邦亜鉛保有CBH社株式の減損△288億円(連結では相殺され消去)

2. 収支の状況(市況推移)



2. 収支の状況

(1)公表ベース比較(市況・生産量)

		2/8 公表ベース	2015年度実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	1,787	1,831	44	2	
	鉛(米\$/t)	1,747	1,770	23	1	
	銀(米\$/toz)	15.0	15.2	0.2	1	
	円/米\$	121.0	120.1	△0.9	△1	
	米\$/豪\$(1-12月)	0.748	0.744	△0.004	△1	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	101.4	99.6	△1.8	△2	
	鉛製品(千t)	90.7	90.9	0.2	0	
	電気銀(t)	408	411	3	1	
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	689	696	7	1
		ラスブ	571	572	1	0
		計	1,260	1,268	8	1
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	85.0	85.3	0.3	0
		ラスブ	46.0	46.0	0	0
		計	131.0	131.4	0.4	0
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	42.5	42.6	0.1	0
		ラスブ	26.2	26.2	0	0
		計	68.7	68.8	0.1	0

2. 収支の状況

(1)公表ベース比較(収支)

		2/8 公表ベース	2015年度実績	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		1,134	1,141	7	1
営業利益(億円)	製錬	6.6	18.1	11.5	174
	資源	△31.0	△24.1	6.9	-
	電子部材	7.7	6.8	△0.9	△12
	環境・リサイクル	7.3	7.5	0.2	3
	その他	7.4	7.5	0.1	1
	調整	△10.0	△1.8	8.2	-
	計	△12.0	14.0	26.0	-
経常利益(億円)		△20.0	10.1	30.1	-
純利益(億円)		△183.0	△162.2	20.8	-
EBITDA(億円)		68.0	93.5	25.5	38

2. 収支の状況

(2)前期比較(市況・生産量)

		2014年度実績	2015年度実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,174	1,831	△343	△16	
	鉛(米\$/t)	2,022	1,770	△252	△12	
	銀(米\$/toz)	18.1	15.2	△2.9	△16	
	円/米\$	109.9	120.1	10.2	9	
	米\$/豪\$(1-12月)	0.906	0.744	△0.162	△18	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	99.3	99.6	0.3	0	
	鉛製品(千t)	86.6	90.9	4.3	5	
	電気銀(t)	401	411	10	2	
資源セグメント CBH社関連(1-12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	719	696	△23	△3
		ラスブ	543	572	29	5
		計	1,262	1,268	6	0
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	82.2	85.3	3.1	4
		ラスブ	37.9	46.0	8.1	21
		計	120.2	131.4	11.2	9
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	48.8	42.6	△6.1	△13
		ラスブ	18.2	26.2	8.0	44
		計	67.0	68.8	1.9	3

2. 収支の状況

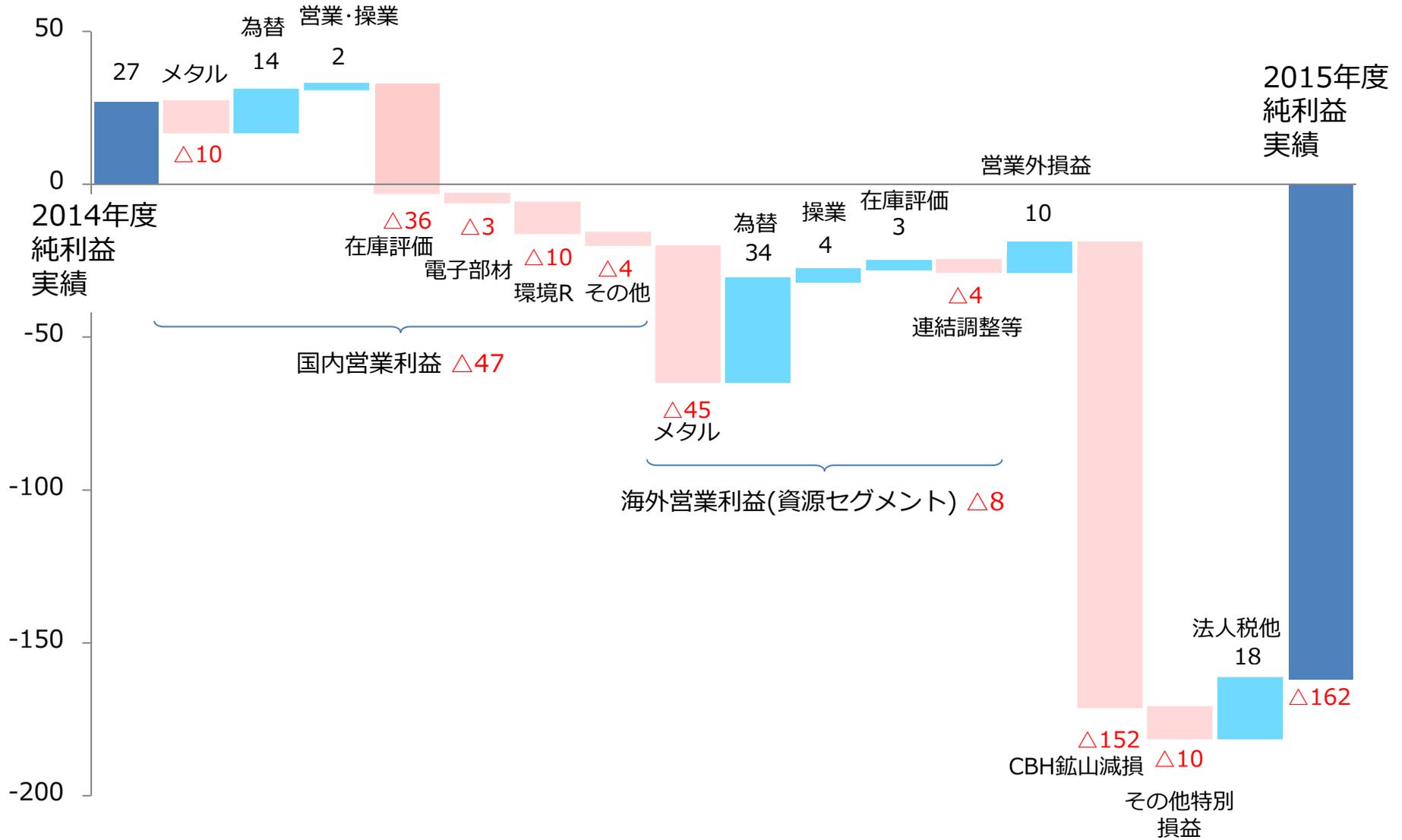
(2)前期比較(収支)

			2014年度実績	2015年度実績	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	813	779	△34	△4
		資源	189	182	△7	△3
		電子部材	70	62	△8	△11
		環境・リサイクル	60	47	△13	△22
		その他	79	73	△6	△8
		計	1,211	1,141	△69	△6
	営業利益(億円)	製錬	51.4	18.1	△33.3	△65
		資源	△16.4	△24.1	△7.7	-
		電子部材	10.5	6.8	△3.8	△36
		環境・リサイクル	17.2	7.5	△9.6	△56
		その他	7.4	7.5	0.1	1
		調整額	△1.1	△1.8	△0.7	-
		計	69.0	14.0	△55.0	△80
		経常利益(億円)	55.7	10.1	△45.6	△82
		純利益(億円)	27.4	△162.2	△189.6	-
		EBITDA(億円)	152.9	93.5	△59.4	△39

2. 収支の状況

(2)前期比較(収支)

単位：億円



2. 収支の状況

(3)四半期単位比較

2015年度		Q1実	Q2実	Q3実	Q4実	累計
売上高(億円)		313	288	281	260	1,141
営業利益(億円)	製錬	24.8	△21.0	3.1	11.2	18.1
	在庫評価損益	11.0	△25.2	△8.8	7.0	△16
	上記以外	13.8	4.2	11.9	4.2	34.1
	資源	△1.4	△17.4	△16.5	11.1	△24.1
	電子部材	2.3	2.1	1.9	0.4	6.8
	環境・リサイクル	4.9	1.7	0.5	0.6	7.5
	その他	1.4	1.8	1.7	2.7	7.5
	計	30.1	△32.9	△10.0	26.8	14.0
経常利益(億円)		25.4	△33.0	△13.0	30.6	10.1
純利益(億円)		13.4	△28.4	△167.6	20.5	△162.2

(ご参考)

2014年度	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)	283	320	298	310	1,211
営業利益(億円)	7.1	24.7	27.0	10.2	69.0
経常利益(億円)	10.0	25.5	23.7	△3.6	55.7
純利益(億円)	3.3	15.6	11.5	△3.0	27.4

3. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

			2015年3月末 実績	2016年3月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金		86	98	12
	受取手形・売掛金		160	138	△21
	たな卸資産		431	362	△69
	その他		25	18	△7
	計		702	616	△85
固定資産	有形固定資産		501	441	△59
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	154 (157)	105 (119)	△49 (△38)
	無形固定資産		255	112	△144
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	252 (257)	111 (126)	△141 (△131)
	投資その他		62	53	△9
計		818	605	△213	
資産 合計			1,520	1,222	△298

3. 財務の状況

(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

			2015年3月末 実績	2016年3月末 実績	差(実額)
負債の部	支払手形・買掛金		67	63	△3
	借入金	CP	60	30	△30
		短期	169	147	△21
		長期	401	385	△16
		借入金 計	630	562	△67
	その他負債		178	154	△24
	計		874	780	△95
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	-
		資本剰余金・自己株式	99	99	0
		利益剰余金	252	81	△172
		株主資本 計	497	325	△172
	その他包括利益累計額		148	117	△32
	計		645	442	△204
負債・純資産 合計			1,520	1,222	△298

3. 財務の状況

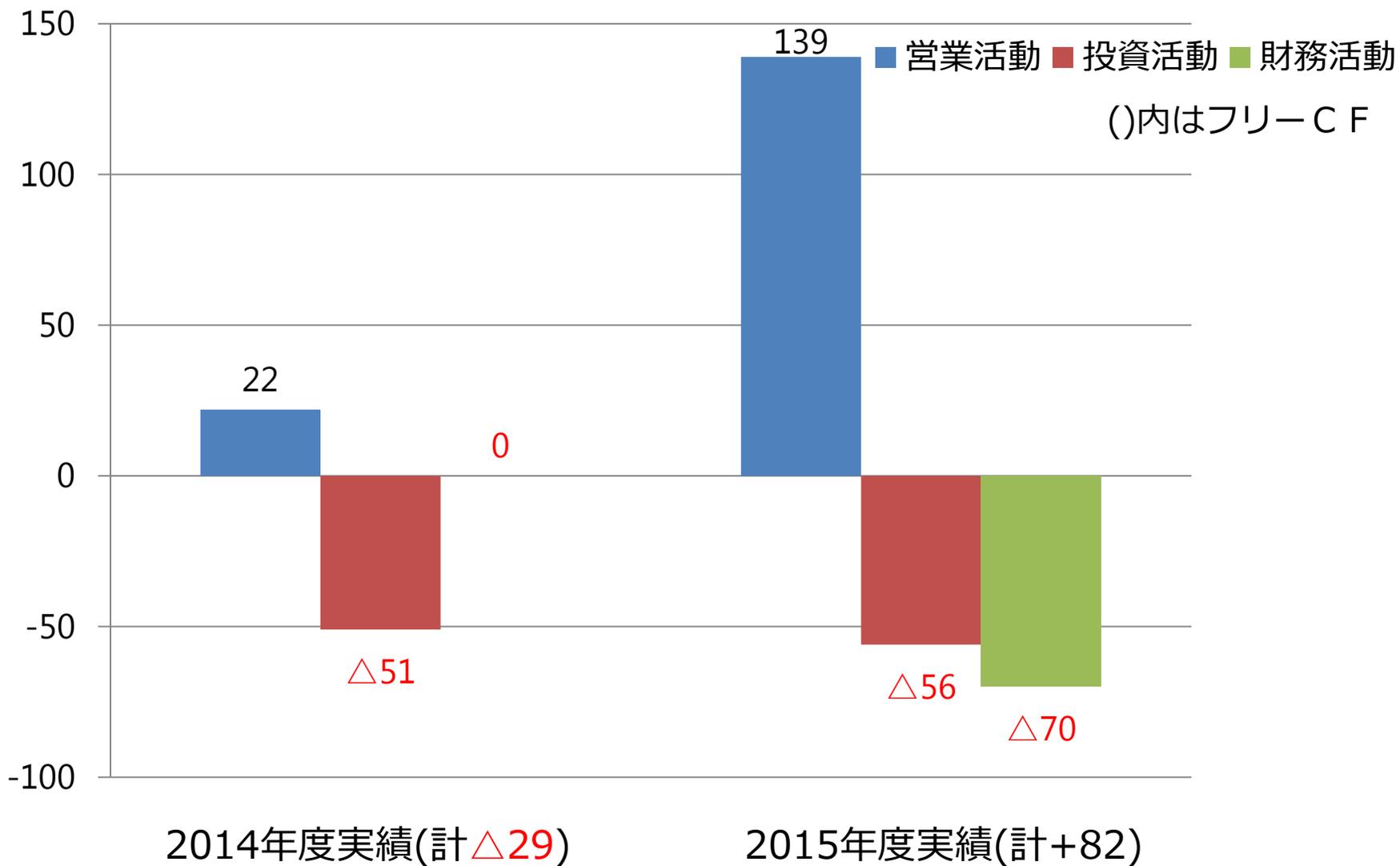
(2) 主要財務指標の変化

	2014年度		2015年度
自己資本比率	42.5%		36.2%
D/Eレシオ	1.0倍		1.3倍
D/EBITDAレシオ	4.1倍		6.4倍
純利益/自己資本(ROE)	4.4%		△29.8%
純利益/売上高	2.3%		△14.2%
売上高/総資産	0.8回転		0.9回転
総資産/自己資本	2.4倍		2.2倍

3. 財務の状況

(3) キャッシュ・フローの推移

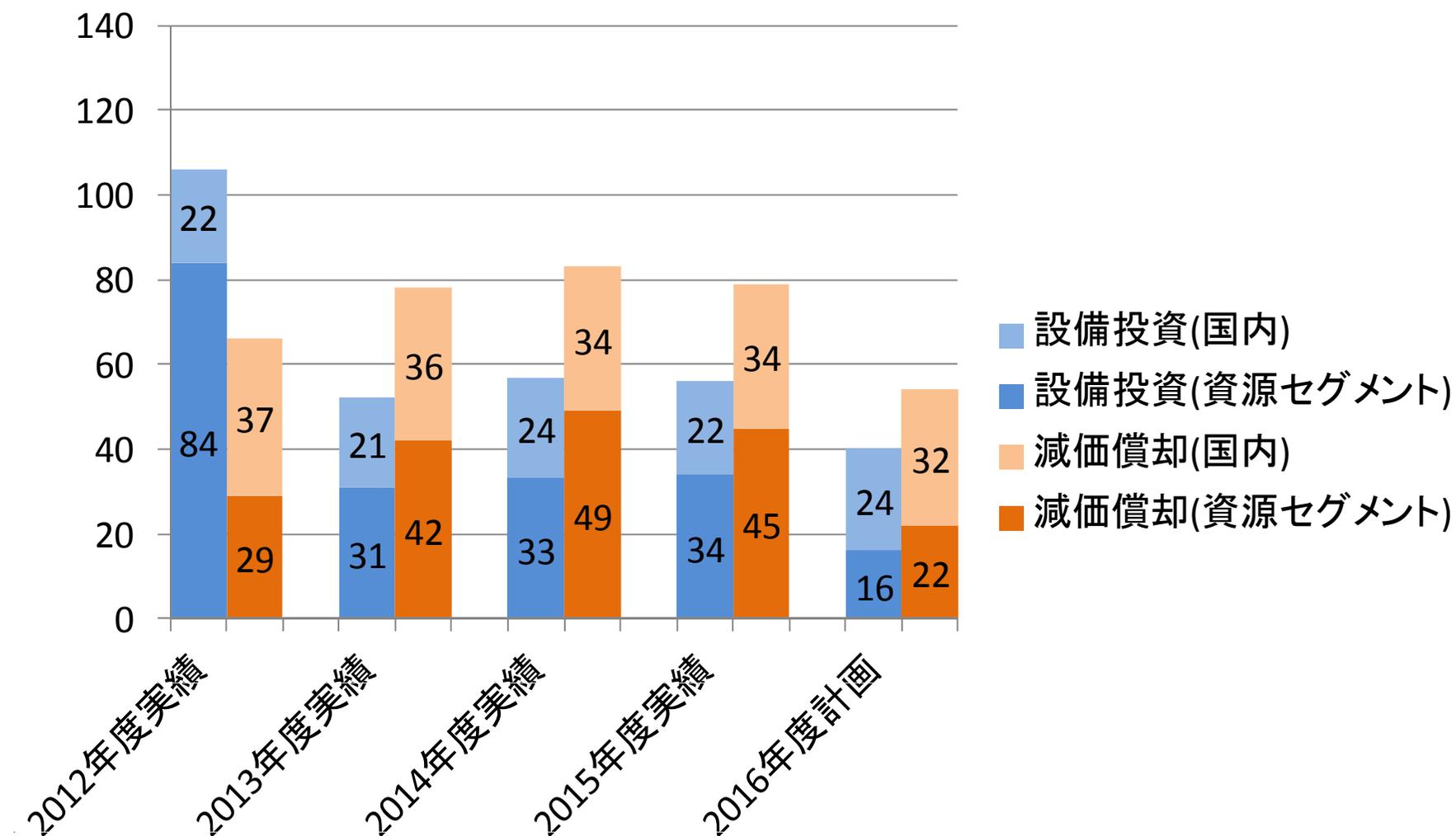
単位：億円



3. 財務の状況

(4) 設備投資・減価償却の推移

単位：億円



4. 資源セグメントの状況

前期比△7.7億円

⇒内、CBH社営業利益△3.7億円(内、市況等他律要因△9.1億円)。

CBH社の精鉱生産量は前期比+13.1千dmtを達成(Zn+11.2千dmt Pb+1.9千dmt)

①エンデバー鉱山

前期比△8.7億円(内、市況等他律要因△7.8億円)

他律要因除いても△0.9億円の減益→亜鉛粗鉱品位・歩留まり改善なるも、償却費増加

②ラスプ鉱山

前期比+4.6億円(内、市況等他律要因△1.3億円)

他律要因除くと今だ赤字ながら+5.9億円の増益→鉛粗鉱品位・歩留まり改善

③連結調整等

前期比△4.0億円

連結決算に反映させる1～3月の親子間取引の市況影響による

利益(億円)		2014年度実績	2015年度実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	8.8	0.1	△8.7
	ラスプ鉱山	△20.5	△15.9	4.6
	その他	1.2	1.6	0.4
	計	△10.5	△14.2	△3.7
*連結調整他		△5.9	△9.9	△4.0
資源セグメント利益		△16.4	△24.1	△7.7

*連結調整他：親子間決算期ずれ調整分等

II. 2016年度 連結業績予想

1. 前期比較(市況・販売・生産量)

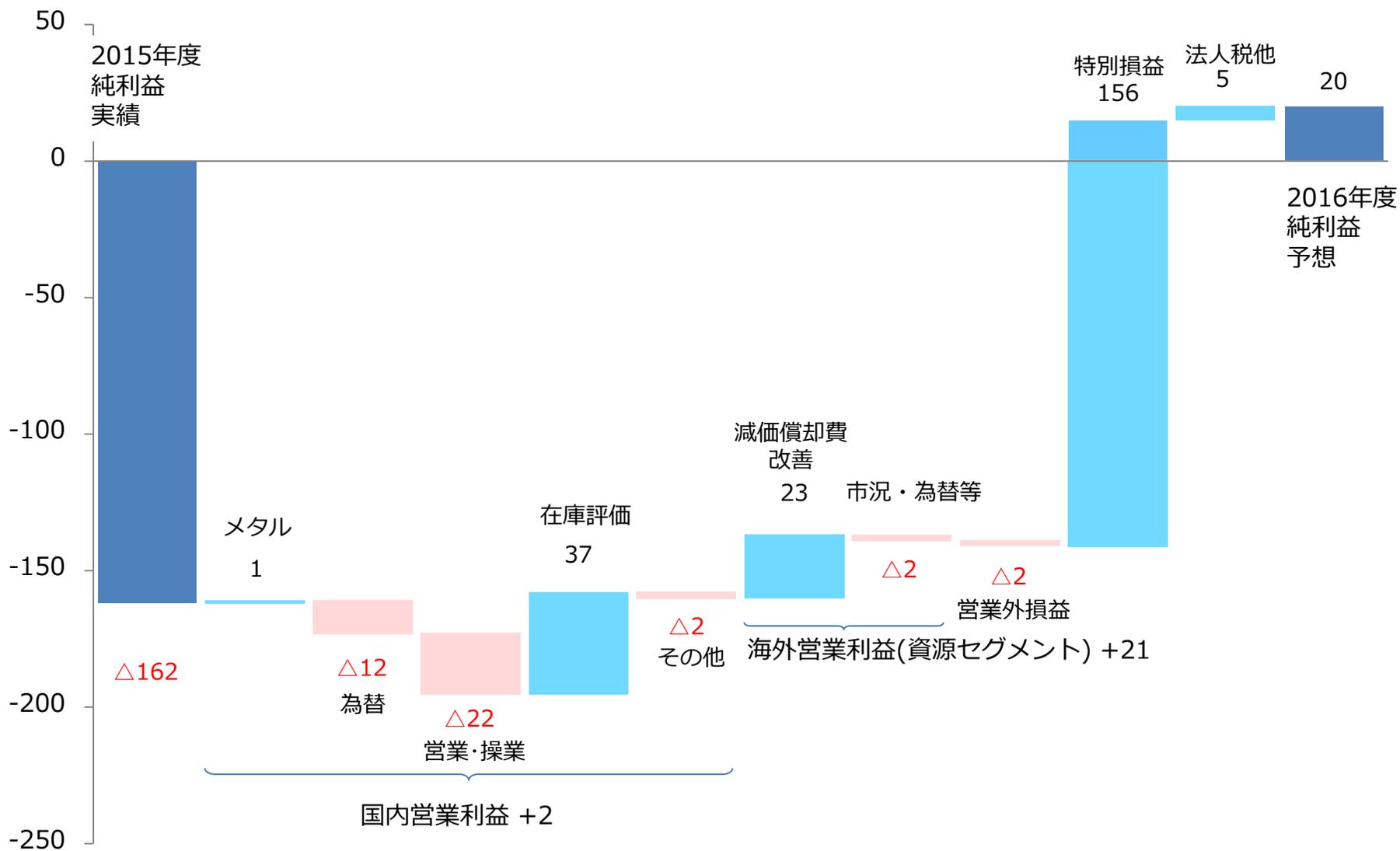
		2015年度 実績	2016年度 目標	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	1,831	1,900	69	4	
	鉛(米\$/t)	1,770	1,750	△20	△1	
	銀(米\$/toz)	15.2	16.0	0.8	5	
	円/米\$	120.1	110.0	△10.1	△8	
	米\$/豪\$(1~12月)	0.744	0.750	0.006	1	
製錬セグメント 主要製品生産量	カソード亜鉛生産量(千t)	99.6	98.0	△1.6	△2	
	鉛電解製品生産量(千t)	90.9	90.0	△0.9	△1	
	銀製品生産量(t)	411	410	△1	0	
資源セグメント CBH関連(1~12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	696	150	△546	△78
		ラスプ	572	610	38	7
		計	1,268	760	△508	△40
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	85.3	17.5	△67.8	△80
		ラスプ	46.0	47.7	1.6	4
		計	131.4	65.2	△66.2	△50
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	42.6	9.8	△32.9	△77
		ラスプ	26.2	25.7	△0.5	△2
		計	68.8	35.5	△33.3	△48

1. 前期比較(収支)

		2015年度実績	2016年度計画	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		1,141	975	△166	△15
営業利益(億円)	製錬	18.1	19.0	0.9	5
	資源	△24.1	△3.0	21.1	-
	電子部材	6.8	8.5	1.8	26
	環境・リサイクル	7.5	7.5	0	0
	その他	7.5	8.5	1.0	13
	調整	△1.8	△3.5	△1.7	-
	計	14.0	37.0	23	165
経常利益(億円)		10.1	31.5	21.4	213
純利益(億円)		△162.2	20.0	182.2	-
EBITDA(億円)		93.5	91.0	△2.5	△3

1. 前期比較(収支)

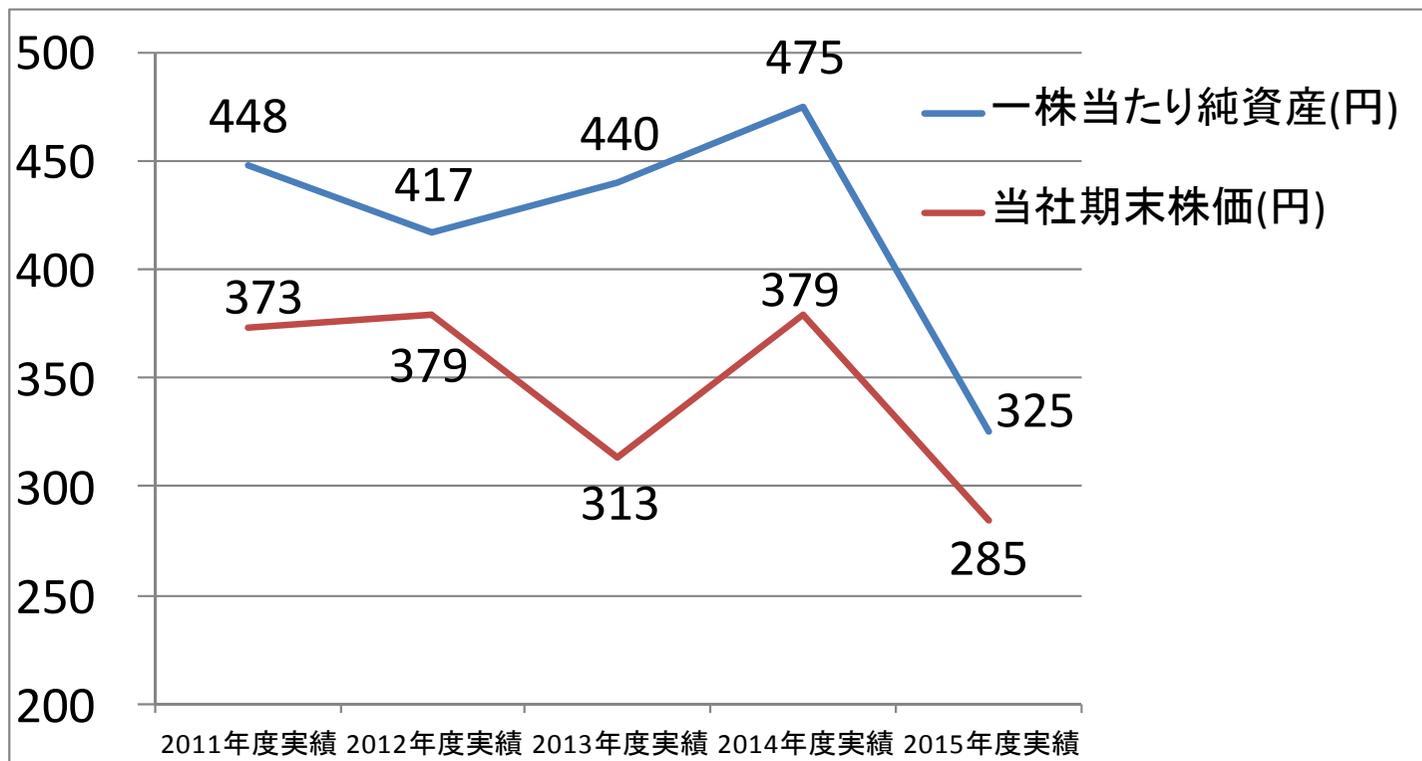
単位：億円



2. 上下比較(収支)

		2016年度上期計画	2016年度下期計画	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		470	505	35	7
営業利益(億円)	製錬	7.0	12.0	5.0	71
	資源	△2.5	△0.5	2.0	-
	電子部材	4.0	4.5	0.5	13
	環境・リサイクル	3.5	4.0	0.5	14
	その他	4.0	4.5	0.5	13
	調整	△2.0	△1.5	0.5	-
	計	14.0	23.0	9.0	64
経常利益(億円)		11.5	20.0	8.5	74
純利益(億円)		7.0	13.0	6.0	86
EBITDA(億円)		41.0	50.0	9.0	22

3. 一株当たり情報



	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 予想
EPS(円)	7.4	△37.97	12.30	20.20	△119.40	14.7
DPS(円)	7	5	5	7	5	5
PER(倍)	50.38	-	25.45	18.76	△2.39	-
PBR(倍)	0.83	0.91	0.71	0.80	0.88	-

4.感応度

	変動幅	2015年度試算		2016年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	*内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10/t	¥80百万	豪\$580千	¥60百万	豪\$370千	△¥20百万	△豪\$210千
鉛	\$10/t	¥45百万	豪\$450千	¥30百万	豪\$260千	△¥15百万	△豪\$190千
円/米\$	1円/米\$	¥100百万	-	¥90百万	-	△¥10百万	-
米\$/豪\$	1%	豪\$2.7百万	同左	豪\$1.4百万	同左	△豪\$1.3百万	同左

* 円換算は82.5円/豪\$を使用

5.第10次中期経営計画フォローアップ

(1)具体的数値目標の達成状況

			2015年		2016年		2017年	
			中計	実績	中計	5/12公表	中計	
カソード垂鉛生産量(千t)			99.0	99.6	99.0	98.0	99.0	
鉛電解製品生産量(千t)			90.0	90.9	90.0	90.0	90.0	
銀製品生産量(t)			400	411	400	410	400	
CBH精鉱生産量(千dmt)	Zn	エンデバー	84.9	85.3	55.4	17.5	57.8	
		ラスプ	44.7	46.0	50.5	47.7	53.1	
		計	129.7	131.4	105.9	65.2	111.0	
	Pb	エンデバー	40.5	42.6	31.0	9.8	30.0	
		ラスプ	24.6	26.2	28.9	25.7	26.7	
		計	65.1	68.8	59.8	35.5	56.7	

(2)設備投資計画の達成状況

		2015年		2016年		2017年	
		中計	実績	中計	5/12公表	中計	
国内(億円)		31	22	28	24	30	
CBH(百万豪\$)		41	38	29	20	23	

(3)市況メインシナリオの差異

	2015年		2016年		2017年	
	中計	実績	中計	5/12公表	中計	
亜鉛(米\$/t)	2,300	1,831	2,500	1,900	2,700	
鉛(米\$/t)	2,000	1,770	2,200	1,750	2,400	
銀(米\$/toz)	17.0	15.2	17.0	16.0	17.0	
円/米\$	115	120.1	115	110	115	
米\$/豪\$	0.750	0.744	0.750	0.750	0.750	

(4)収支差異

	2015年		2016年		2017年	
	中計	実績	中計	5/12公表	中計	
売上(億円)	1,240	1,141	1,260	975	1,360	
営業利益(億円)	96	14.0	115	37.0	150	
経常利益(億円)	80	10.1	105	31.5	140	
純利益(億円)	50	△162.2	70	20.0	100	
キャッシュフロー(億円) (純利益+減価償却費)	135	△83	150	74.2	180	

(5)セグメント利益の差異

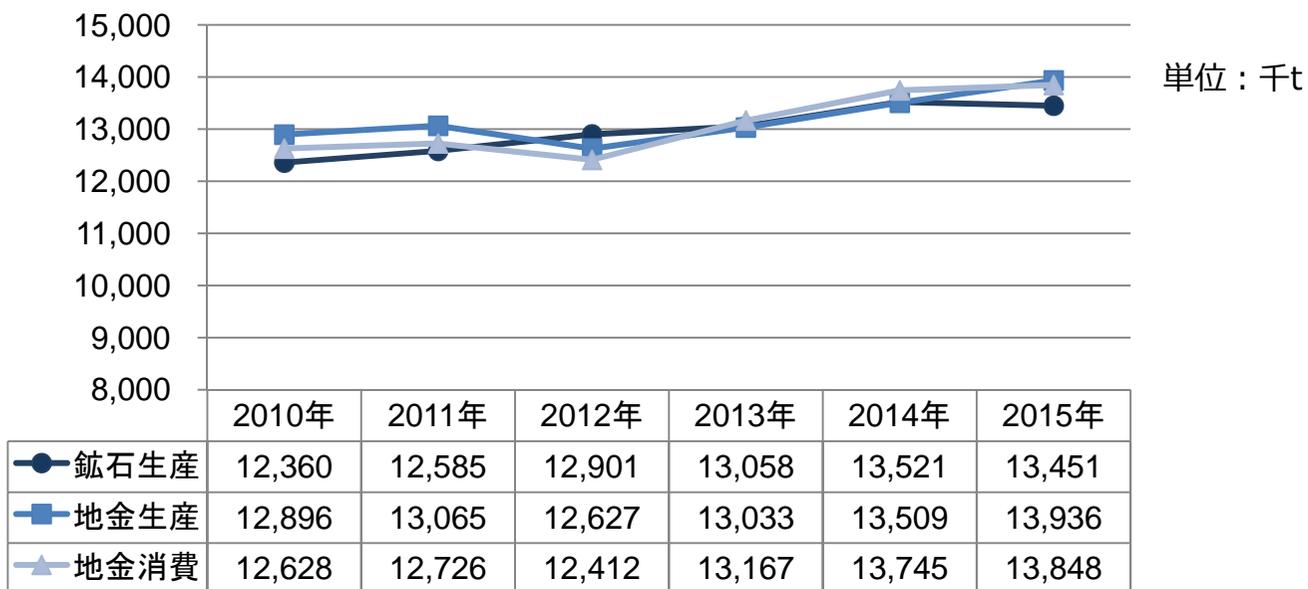
	2015年		2016年		2017年		ミッション
	中計	実績	中計	5/12公表	中計		
製錬(億円)	55	18	69	19	78		ステークホルダーの期待に全方位的に応える最適操業体制の構築・実施
資源(億円)	12	△24	14	△3	35		CBH社ラスプ鉱山の高品位鉱アクセスによる採算改善、効率操業、コスト削減
電子部材(億円)	9	7	10	9	11		電子部品・電解鉄・プレーティング・機器部品による安定収益への貢献
環境・リサイクル(億円)	13	8	15	8	18		既存業務の拡大と新規業務展開の両面作戦
その他(億円)	8	8	9	9	10		防音建材・土木・建築・プラントエンジニアリング・運輸による安定収益への貢献
調整(億円)	△1	△2	△2	△4	△2		
営業利益合計(億円)	96	14	115	37	150		

(参考資料)

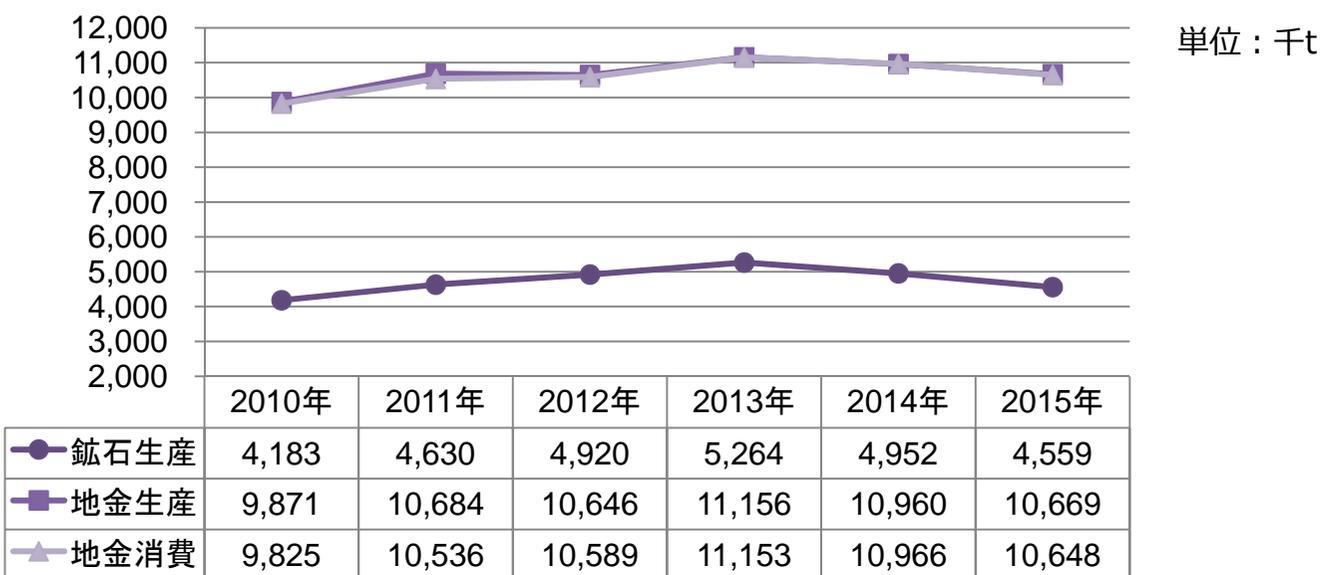
1.世界の亜鉛・鉛の需給推移

出典：国際鉛亜鉛研究会

亜鉛（世界計）



鉛（世界計）

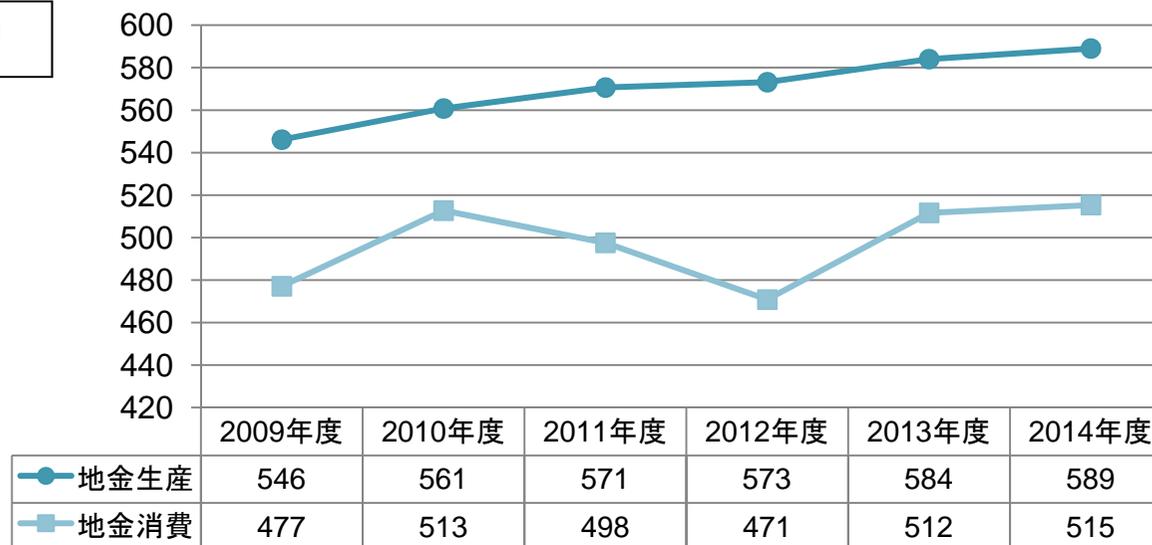


2.国内の亜鉛・鉛の需給推移

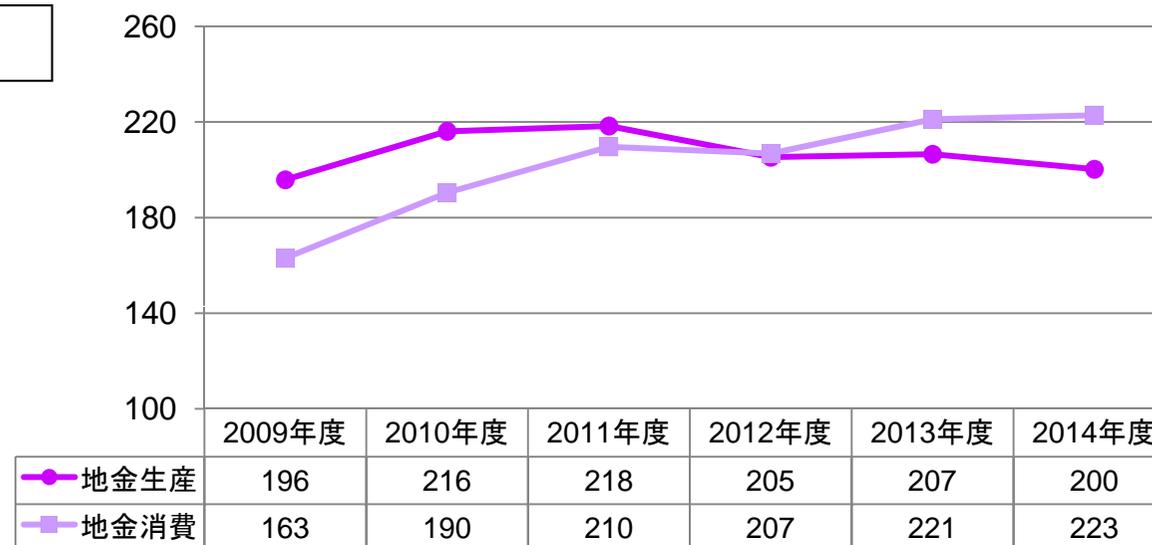
出典：経済産業省資源エネルギー庁

単位:千t

亜鉛（国内計）

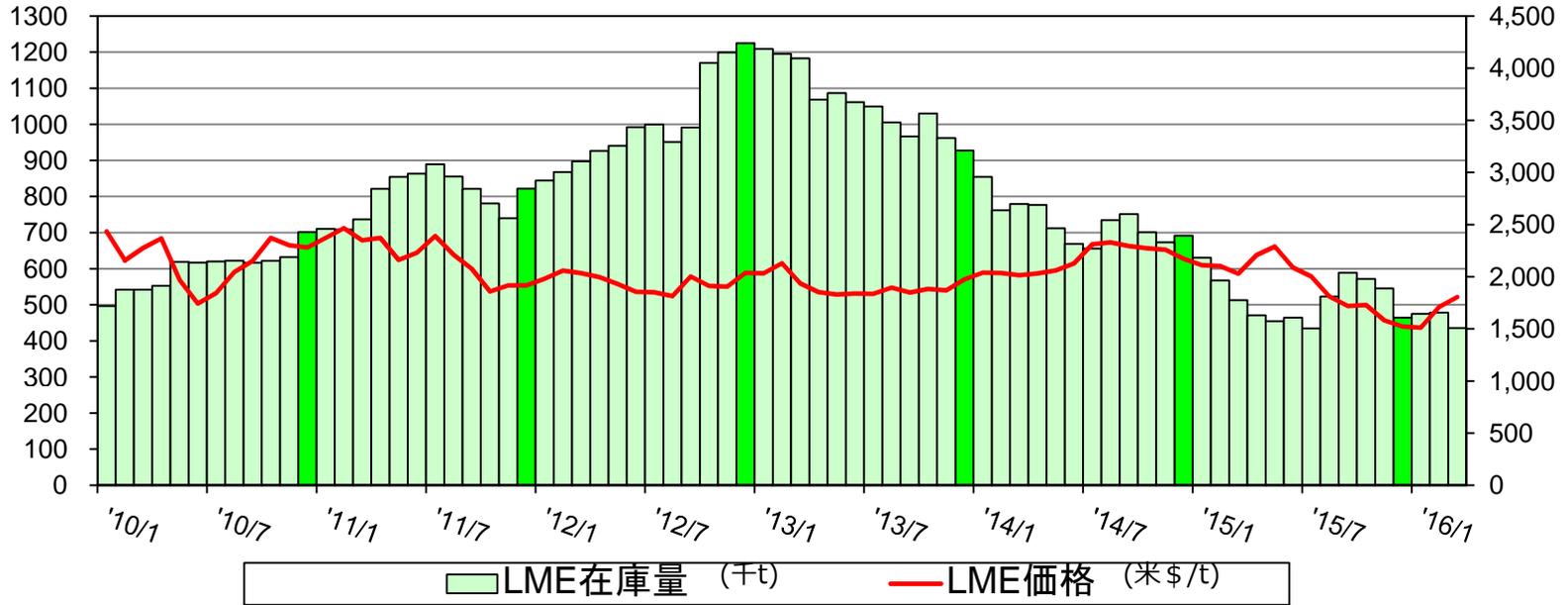


鉛（国内計）

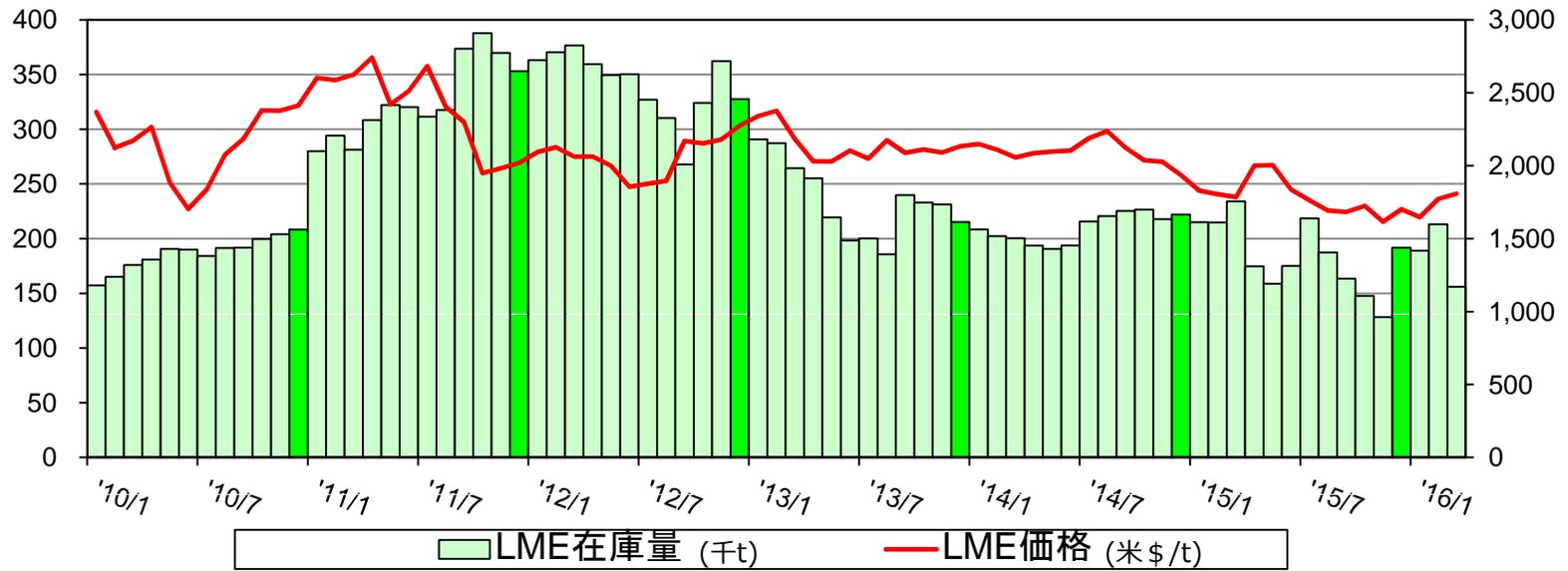


3.メタルの価格と在庫の推移

亜鉛



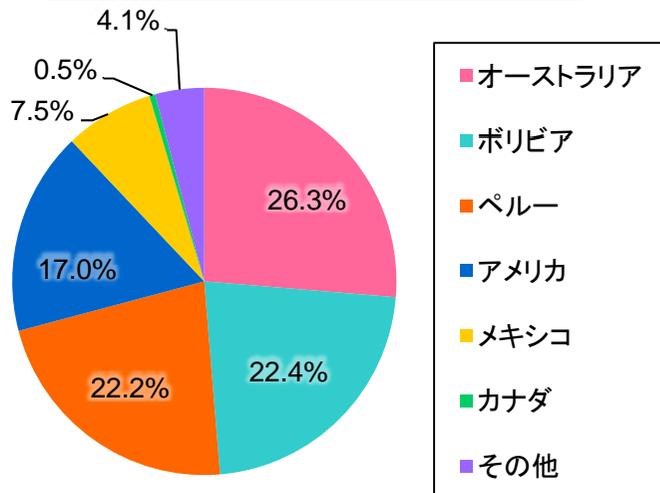
鉛



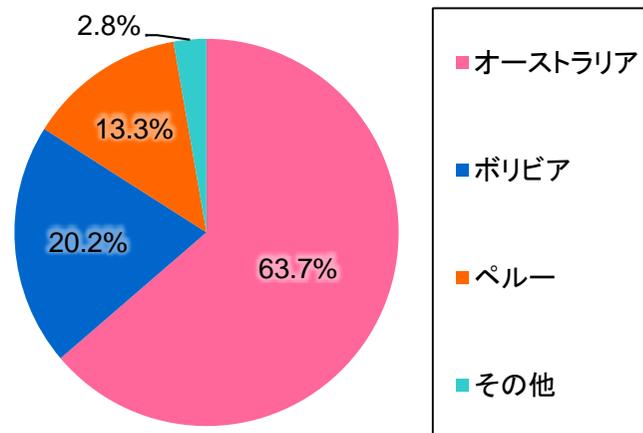
4.亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要

出典：経済産業省資源エネルギー庁

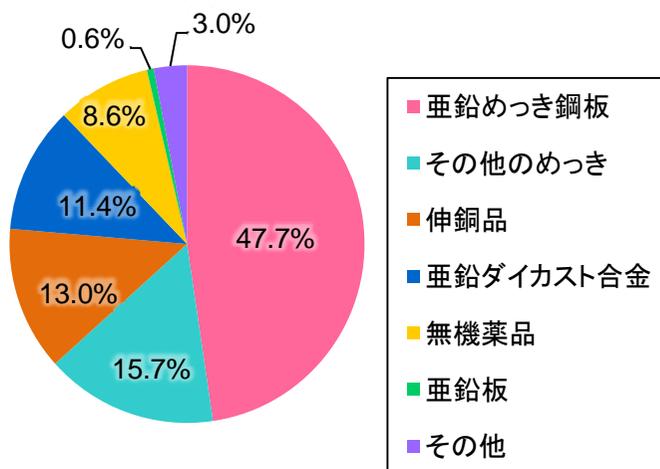
日本の亜鉛鉱石の輸入国
(2015年 合計466,787t)



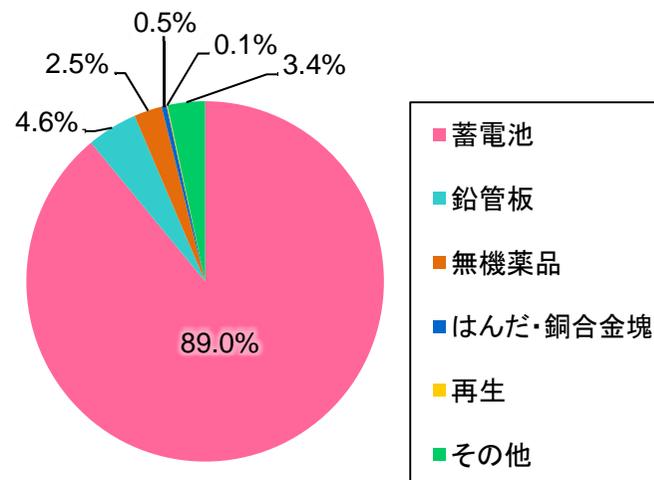
日本の鉛鉱石の輸入国
(2015年 合計58,112t)



亜鉛の国内需要
(2015年 合計355,736t)



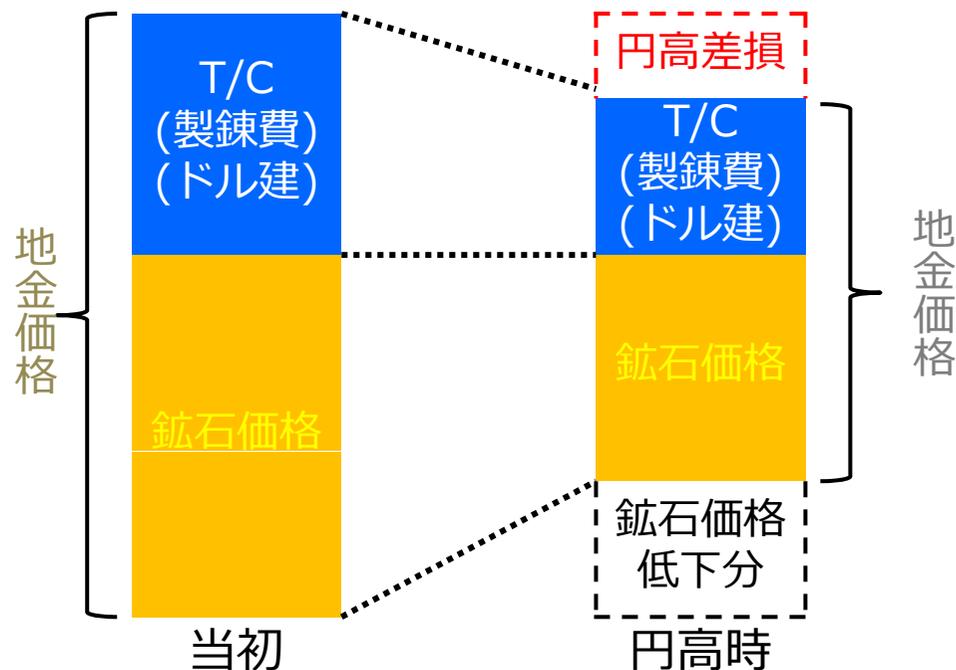
鉛の国内需要
(2015年 合計212,220t)



5. 製錬事業の収益構造

主な収益要因

- (1) LME（ロンドン金属取引所）
- (2) 為替レート
- (3) T/C（Treatment Charge）
（製錬費）
- (4) 採収差量



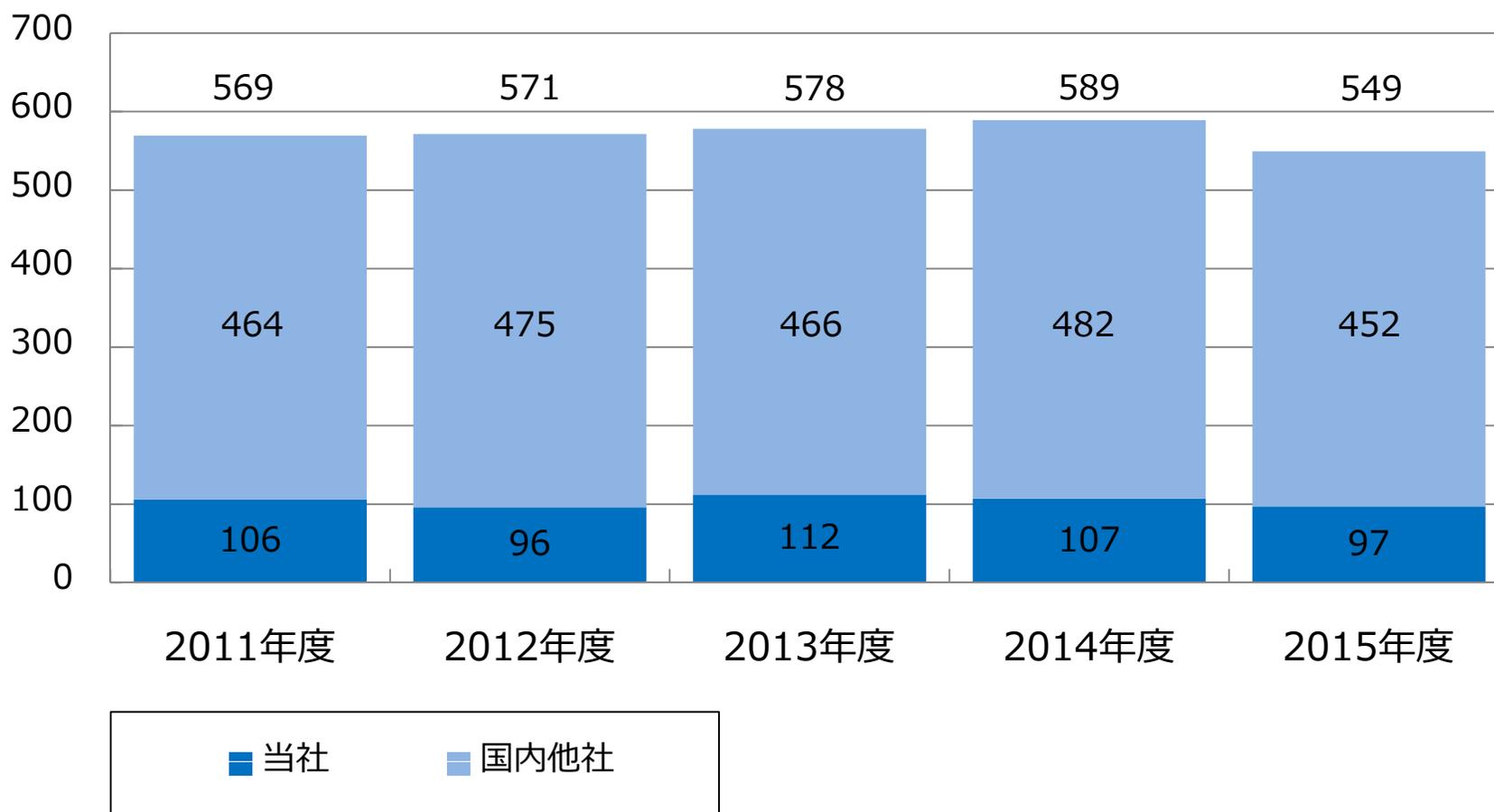
- 国内価格はLME価格（ドル建）に連動しているため、円高になるとその分地金価格は下落し、売上高が減少する。
- 海外鉱山会社との買鉱交渉による当社の取り分である製錬費（T/C）がドル建なので、円高になるとその分手取りが減少する。

6.製錬業界における当社の位置

(1)亜鉛

亜鉛国内生産量（千t）

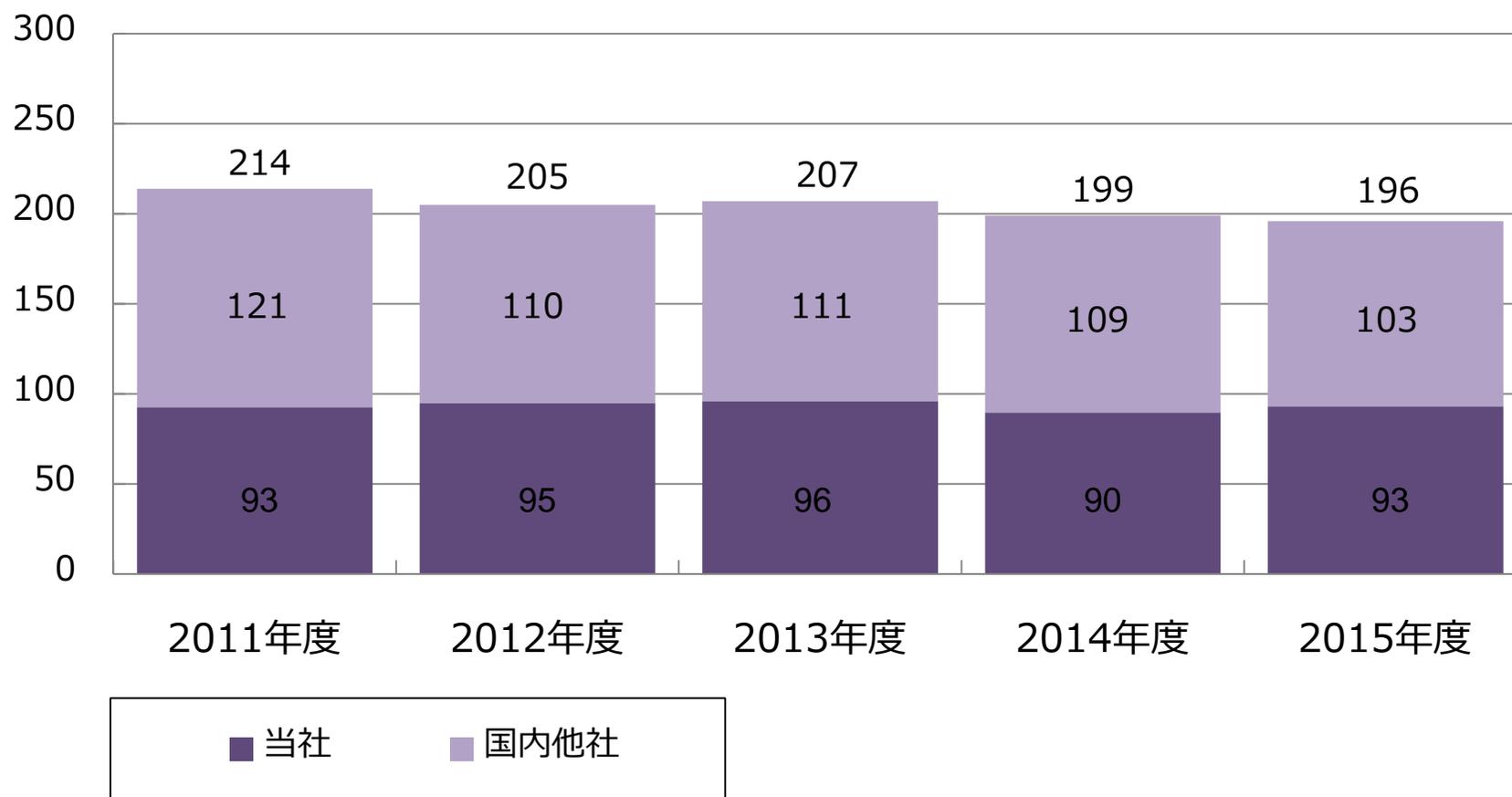
出典：経済産業省資源エネルギー庁



(2)鉛

鉛国内生産量（千t）

出典：経済産業省資源エネルギー庁



7.主要製品の用途

主 な 用 途

亜鉛	亜鉛メッキ鋼板、一般メッキ、ダイカスト、伸銅品
鉛	バッテリー、電線、無機薬品、鉛管板
銀	フィルム、はんだ、メッキ
酸化亜鉛	ゴム（タイヤ）、フェライト、触媒
硫酸	化学肥料、合成繊維、化学工業薬品、石油精製
電子部品	産業機器、OA機器、車載電装品、パソコン
電子材料 《プレーティング》 《電解鉄》	接点およびコネクタ (携帯電話、デジタル機器、車載電装品) 特殊合金、超耐熱鋼、磁性材料、触媒

8.主要製品の売上の推移(連結)

上段：数量(t) 下段：金額(百万円)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
亜鉛製品	127,370 27,283	100,572 19,524	107,578 20,366	115,149 25,478	99,303 27,209	91,897 23,653
鉛製品	94,069 20,901	91,944 19,595	87,884 18,367	90,833 22,942	86,600 22,656	92,384 23,071
電気銀	347 22,701	342 30,651	353 29,053	363 25,064	401 25,682	414 24,635
硫酸	1,398	1,468	1,689	1,637	1,537	1,451
鉱石販売	-	-	11,034	14,085	18,853	18,154
電子部品	3,890	2,974	2,706	2,818	3,096	2,740
電子材料	4,471	4,228	3,890	4,113	3,995	3,415
環境・リサイクル製品	4,853	2,994	4,350	4,921	5,978	4,638
防音建材	1,874	2,016	1,924	2,253	1,934	1,738
完成工事高	4,279	4,701	2,619	3,324	2,427	3,224
その他	11,974	17,759	7,650	11,978	7,721	7,420
合計	103,628	105,914	103,654	118,619	121,093	114,144